

令和4年1月14日

各 位

日本ダイカストマシン工業会

第21回 日本ダイカストマシン工業会 オンライン技術セミナーのご案内

～ ダイカスト製造と設備のカーボンニュートラルへの取り組み ～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は初めてのオンラインセミナーを開催したところ大変ご好評をいただきました。現在もコロナ禍の中、皆様に安心してセミナーにご参加いただける方法として、今回もオンラインでセミナーを開催することといたしました。

遠方の方々にもお気軽にご参加頂き、少しでも皆様のお役に立つことが出来れば幸いです。

時節柄ご多忙とは存じますが、幅広い関係者の皆様のご参加をお待ちいたしております。

敬具

日本ダイカストマシン工業会

【協賛団体】

(一社) 日本ダイカスト協会、日本ダイカスト工業協同組合、(一社) 日本自動車部品工業会、(一社) 日本鑄造協会、(公社) 日本鑄造工学会、(一財) 素形材センター

【主催】

日本ダイカストマシン工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 301 (一財) 素形材センター内

TEL : 03-6809-1509 FAX:03-3459-6911 アドレス : jdmma@sokeizai.or.jp

HP : <https://www.sokeizai.or.jp/pages/22/>

お問合せ受付時間 10:30～15:30 (土日祝日休み) 担当 : 高辻、本間

※テレワークを実施している関係で担当者が不在の場合がございます。

事務局への問い合わせ等につきましては、なるべくメールでのご連絡をお願いいたします。

= お申込の詳細 =

【日 時】 令和4年3月18日（金） 13:15～16:30（開場13:00）

【開催方法】 オンライン開催（Cisco WebEx）電子テキストを事前配布

【参加費】 主催団体及び協賛団体会員 お一人様 8,000円
非会員 お一人様 10,000円

※1名様のお申込みで、複数名様のご視聴はご遠慮願います。

【定 員】 70名（定員に達し次第締切りとさせていただきます。）

【申込方法】 別添の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、E-mailにてお申込み
ください。

【申込締切】 令和4年2月25日（金）

【支払期限】 令和4年3月4日（金）
参加申し込み後に、請求書を郵送いたします。
銀行振込受取書をもって領収書に代えさせていただきます。

【取り消し】 ①令和4年2月25日（金）以前にお取り消しのご連絡を頂いた場合は
参加費を、振り込み手数料お客様負担にてご返金いたします。

**※請求書に記載のお振込み期限に間に合わない場合は必ず振込予定
日をご連絡ください。**

②令和4年2月26日（土）以降のお取り消しにつきましては
上記参加費の返金は出来ませんが、テキストは送付いたします。

——— << お申込の流れ >> ———

1. 申込み用紙にご記入の上、E-mail(jdmma@sokeizai.or.jp)にお送りください。
↓
2. 申込受付完了のメールをお送りします。
(1週間以内に届かない場合は恐れ入りますがご連絡下さい。)
↓
3. 申込受付完了メール送信後、一週間以内に請求書を郵送いたします。
↓
4. 3月16日（セミナー前々日）に招待メールをお送りします。
(テキストはデータでの配布を予定しております。)
↓
5. 当日は招待メールに記載のURLからお入りください。

<< 注意事項 >>

- シスコ社の WebEx を使用したオンラインセミナーです。セミナー参加のために、パソコンやタブレットなどの端末と、インターネット環境、メールアドレスが必要です。また、通信費は参加者負担になります。
- 講演中はカメラ、マイクをOFFにしてください。
- 映像や音声が乱れる場合がございますのでご了承ください。
- **本セミナーの録音・録画等は固くお断りいたします。**
- **本セミナーの参加用の招待 URL、パスワード等を外部に流出させる行為は、入室できる定員数が決まっているため、お申込み頂いた参加者が入室できなくなる可能性があります。そのため固くお断りいたします。**
- 参加者ご自身の機材や通信環境に関するトラブル等のお問合せには、事務局は対応いたしかねます。
- 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、開催の可否を検討せざるを得ない場合が考えられます。中止または延期の場合には、当 HP で発表するとともに、お申込者様にご連絡を差し上げます。

第 21 回 日本ダイカストマシン工業会 技術セミナープログラム ～ ダイカスト製造と設備のカーボンニュートラルへの取り組み～

1.	開会挨拶 技術委員会 委員長 池田 伸吾(東洋機械金属㈱)	13:15～13:20
2.	需要動向 技術委員会 委員 山崎 政道(㈱ヒシヌママシナリー)	13:20～13:30
3.	『カーボンニュートラルの正しい理解』 トヨタ自動車株式会社 渉外部	13:30～14:10
	<p>【内容】 日本の自動車業界はカーボンニュートラル (CN) に全力でチャレンジすることを表明しました。CNの実現には、「作る、運ぶ、使う、廃棄する」のライフサイクルでとらえ、国のエネルギー政策と一体で推進していく必要があります。また、自動車業界の仕事や雇用にも大きな影響を与えるものです。そこで、今回の講演を通じ、まずはCNを正しい理解を共有し、自動車業界皆で同じ方向へ正しく進んでいくための一歩となれば幸いです。</p>	
4.	『省エネ型アルミ溶解炉 Hybrid Freedom の紹介 (保持室ヒータ式酸化物抑制炉の開発)』 日本ルツボ㈱ 工業炉技術部 担当 出川 大氏	14:10～14:50
	<p>【内容】 酸化物抑制炉 (保持室の掃除頻度が少ない溶解保持炉) は、2018 年度に日本で発売を開始しました。保持室湯面への酸化皮膜を生成することの保護作用により、「酸化物抑制」「溶湯品質改善」「作業性改善」の効果を得るものであり、市場においても当初のコンセプト通りの成果を上げています。今回は保持室にヒータを採用することにより、「CO₂ の削減」「無人運転時の安全確保」の効果を獲得したうえで「炉トータルでのエネルギー削減」を実現する、保持室ヒータ式酸化物抑制炉 (Hybrid Freedom) の開発に取り組むこととした。</p>	
5.	休憩	14:50～15:05
6.	『難燃性作動油・水グリから見たカーボンニュートラルへのアプローチ』 ㈱MORESCO 機能材事業部 作動油・真空油部 営業課 佐藤 允彦氏	15:05～15:45
	<p>【内容】 ダイカスト製造には、作動油、離型剤等の潤滑油の存在が不可欠です。これらの潤滑油を製造・販売する MORESCO では、適切な潤滑油の選択、適切に潤滑油を管理することによってカーボンニュートラル実現への手助けができると考えており、実際に取り組みを行っています。今回の講演では、難燃性作動油とその周辺サービスによって寿命延長や廃液削減など進め、CO₂ 削減に貢献できる技術などをご紹介させていただきます。</p>	
7.	『大型ボディ・シャシー部材ダイカストに求められる要件とその実現技術について』 宇部興産機械㈱ 技術開発本部制御技術 G 主席部員 小江 則禎氏	15:45～16:25
	<p>【内容】 カーボンニュートラル実現を目指し自動車の電動化が急速に拡大するなか、これまで主に鉄板プレス溶接で構成されていたボディ・シャシー部材も薄肉かつ3次元複雑形状を得意とするアルミダイカストによる材料、プロセスシフトと複数部品統合による大型化が進行している。薄肉化と投影面積が増大する傾向にある上記部材においては、エア巻込みや湯境などの casting 欠陥を抑制することは当然ながら、製品部へのアルミ溶湯充填を従来どおり短時間に完了することが求められる。本報告では上記要件を実現する為に開発した技術とその応用例について紹介する。</p>	
8.	閉会挨拶 技術委員会 委員長 池田 伸吾(東洋機械金属㈱)	16:25～16:30

※1 講演 40 分 (質疑応答 5 分含む)